



まるっと瓦版

令和3年

8月号

- 「つながり続けるコミュニティづくり」の紹介
- 「地域福祉コーディネーター」紹介

● 「つながり続けるコミュニティづくり」

町屋地区の粹・活サロンである SUN SUN cafeteria の丸山さんはじめ町屋5丁目第3自治会 ツインシティ町会の皆さまに、サロンの有無に関わらずつながり続けるコミュニティを構築されている仕組み作りについて、お話を伺いました。

『孤独死』がすごく問題になっている昨今、この都営住宅では「**絶対孤独死を出さない**」を目標に自分たちで何ができるかを考えました。

一つ目の取り組みとして、**回覧板**を1週間に1回はまわすことで見守りあっていくシステムづくりに取り組みました。そうすることで何かあった際に『**早期発見・早期対応**』ができ、また何かあると丸山さんに連絡が入り、連携をとって動くことができます。

二つ目の取り組みは、**挨拶運動**です。挨拶を通じて会話が広がり「どこまで行くの？気をつけて行ってらっしゃい♪」「暑いけど水分とってる？」等の声掛けなども行っています。やはり見守り合う為には、**コミュニケーションが大事**だと思っていると話して下さいました。

こうした活動を15年前から皆さんで取り組まれており、現在は防災についての対策を皆さんで考えられているとの事でした。



自治会の皆さま(右端が丸山さんです)

～防災対策への取り組み～

3.11の経験を踏まえ、都営住宅独自の災害対策が必要だと感じたそうです。当時は2階から22階まで全部を回り安否確認をしましたが、災害時エレベーターや携帯が機能しなかったことを踏まえトランシーバーを購入。1階に本部を設置できない事を想定し、それまでは階上に仮本部を設けてトランシーバーでやり取りすることも想定しているそうです。今後また広域的に災害が起きてしまった場合の事も考え、都営住宅には何か必要かを引き続き話し合っているとの事。阪神淡路大震災時物資を運んでいたという現在の防犯部長さんの経験から、簡易トイレキットやトイレトイレットペーパー等が必要とのアドバイスもあり、皆さんでわが事として考えているそうです。「自分たちでできる範囲の事はしていきたい。建物内でできるって事が1番大事」とお話して下さいました。

サロンだけじゃない！

●地域福祉コーディネーターとはなんぞや？！

私たち地域福祉コーディネーターは、主に**3つの役割**を担っています！

1つは**個別のご相談**です。相談先におつなぎしたり制度やサービスでは解決できないような個人のお悩みも一緒に考えます！

2つめは**地域への支援**です。サロン等の居場所づくり等を通じて、主に交流や話し合いの場、見守り助け合う関係づくり、関係機関などの情報の提供やネットワークづくりをします！

3つめは**制度やサービスではどうにもできない問題を解決する新たなやり方や仕組みをつくること**をしています！

現在は地域福祉コーディネーターを各地域に配置しています。

誰もが住みやすい街を目指して皆さんとともに地域福祉を推進していきますので、地域福祉コーディネーターをよろしく願いいたします！

具体的な地域福祉コーディネーターのお仕事

- ・サロン運営補助、サロン立ち上げ支援
- ・個別、団体における福祉ニーズの支援
- ・引きこもり・不登校など生きづらさを抱えた方の支援
- ・地域の活性化支援
- ・その他個別相談（モノ・ペット問題、住民トラブル等）



●ぷち連載コーナー『さくっと！教えてひらりちゃん』●

荒川区の**防災アプリ**が6月15日にNEWリリースされたよ！

主な機能

- ・防災行政無線で放送された緊急情報の内容を文字と音声で確認できる
- ・避難所の開設状況や混雑状況を確認できる
- ・防災マップ等を確認できる
- ・交通・ライフライン、気象についての情報を確認できる



区から配布された水害マップと併せて活用してね！！

アプリストアで「荒川区防災」を検索するか、下記QRコードを活用してね。

Android QRコード



iOS QRコード



ふれあい粋・活サロンの状況

(7月31日現在 全91か所のうち、28か所が実施)

ご相談やお問い合わせは… **地域福祉コーディネーター** へ！

〒116-0003 荒川区南千住1-13-20

荒川区社会福祉協議会3階 (仮)地域福祉支援係

担当：三宅・白旗・大藤・豊田・小森

電話：3802-3338 FAX：3802-3831 メール：jigyo@arakawa-shakyo.or.jp